

**製品名:  $\alpha$ 平滑筋アクチンウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21513**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:42kD;Observed MW:42kD

**抗原情報**

遺伝子名	ACTA2
別名	ACTA2;ACTSA;ACTVS;GIG46;Actin;aortic smooth muscle;Alpha-actin-2;Cell growth-inhibiting gene 46 protein
遺伝子 ID	59.0
SwissProt ID	P62736
免疫原	ヒト $\alpha$ 平滑筋アクチンの合成ペプチド

**背景**

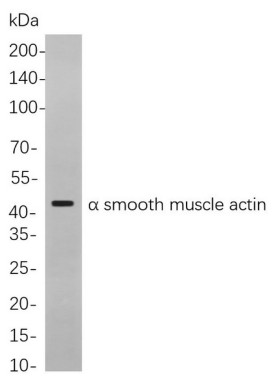
細胞局在: 細胞質。この遺伝子によってコードされるタンパク質はアクチンファミリーに属し、細胞の運動性、構造、そして完全性

に關与する高度に保存されたタンパク質です。α、β、γアクチンのアイソフォームが同定されており、αアクチンは収縮装置の主要構成要素であり、βおよびγアクチンは細胞運動の調節に關与しています。このアクチンは骨格筋に見られるαアクチンです。この遺伝子の欠陥は、家族性胸部大動脈瘤 6型を引き起こします。同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008年11月]

## 研究分野

-

## 画像データ



K562細胞ライセートのα平滑筋アクチンウサギ mAb を用いたウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。